

POSレジスター、自動釣銭機及びキャッシュレス決済端末機の取得

○取得の目的

窓口における現金の受け渡しによる接触機会の減少等を目的として、POSレジスター、自動釣銭機およびキャッシュレス決済端末機を取得しようとするもの。

○取得する財産の概要

POSレジスター（付属品を含む）	47台
自動釣銭機	28台
キャッシュレス決済端末機	45台

○契約の方法

一般競争入札

○取得の金額

49,352,820円

○契約の相手方

東京都港区芝浦1丁目2番3号
シャープマーケティングジャパン株式会社
ビジネスソリューション担当

○納入期限

令和5年3月31日

一般会計補正予算（第6・7号）

補正予算額 第6号 28億9826万3千円増

第7号 22億7220万7千円増

（補正後予算額 1259億4623万7千円）

【主な内容】

補正予算第6号

○企業版ふるさと納税（人材派遣型）を活用した職員採用

グリーンツーリズム整備推進について、民間企業から人材を登用し、民間の知見を生かした魅力ある事業展開を図る。

○介護・障害者施設等職員、保育士等に対する処遇改善

介護・障害者施設等職員、保育士等の処遇改善について、国からの通知等を踏まえ、令和4年10月以降も引き続き対応を図る。

○保健所業務体制の整備等

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大を受け、保健所業務体制の整備とともに、不足が見込まれる経費を増額する。

○修学旅行等の参加者への検査の実施

12月以降に修学旅行を実施する中学2年生（約2,990人）について、集団における感染拡大を防止するため、抗原定性検査キットを活用する。

○抗原定性検査キットの配布

感染拡大防止や事業継続を図るため、高齢者施設や保育施設等に対して、職員の感染確認、濃厚接触者の待期間短縮等に用いる検査キットを配布する。

○オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種体制確保

オミクロン株に対応したワクチン接種について、令和4年10月以降の開始を想定し、必要となる経費を増額する。

補正予算第7号

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給の延長

緊急小口資金等の特例貸付を、借り終わった等の理由により利用できない世帯に対する支援策について、令和4年12月まで引き続き対応を図る。

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の支給

【給付金の概要】

- ・目的…電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）を支援する。
- ・対象世帯…約42,000世帯
 - (1) 住民税非課税世帯…約39,000世帯
 - (2) 家計急変世帯…約3,000世帯
- ・給付額…1世帯当たり5万円
- ・スケジュール…11月中旬を目途に申請書等発送。受付、審査後給付予定。